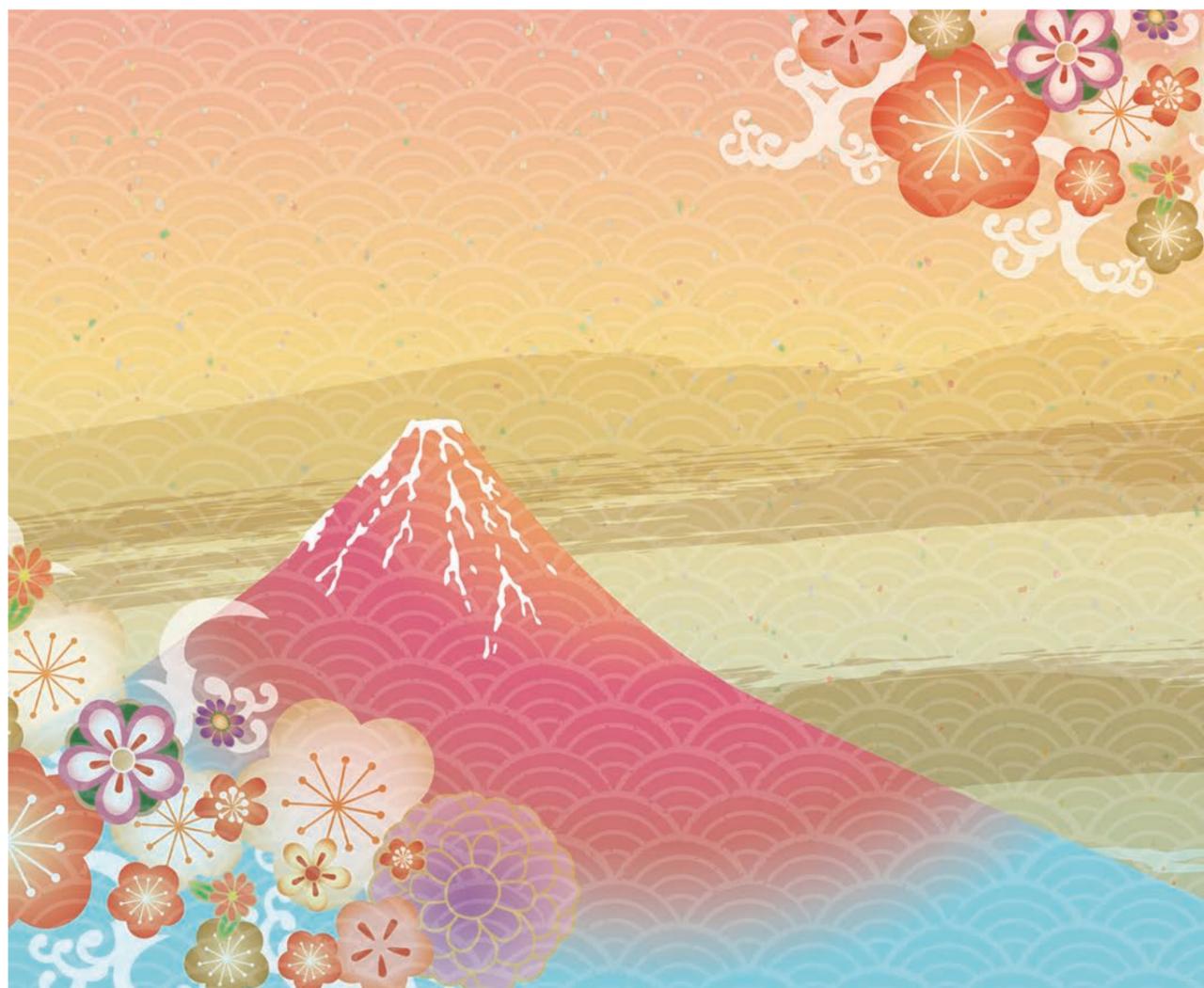


ブリーフレーター Brief Letter 69

人と地域と医療を繋ぐ 秋本病院の情報誌

特集 栄養課の役割と取り組み



千一夜医話 秋本病院理事長・院長 秋本 亮一

●給食室より「ぜんざい」



医療法人 AGIH
秋本病院

[救急告示病院] [日本医療機能評価機構認定病院]
消化器内視鏡センター／健診センター／緩和ケアセンター

SHOP 散策

寿司 なか庄

正統派の絶品寿司を味わえるお店

今回は長年のお付き合いのあるお寿司屋さん「なか庄」をご紹介します。上人橋通りと国道道路が交差する辺り、ローソンのお隣です。

創業46年の老舗で現在は大将とご長男、大将の女将さんが中心になり切り盛りされています。よって常連さんがとても多いお店です。それほど信頼が厚い証です。

正統派の安心していただけるとても美味しいお寿司です。お寿司のほかお造りやあら炊きなども、もちろん絶品です。お昼は手ごろなランチメニューもあり、初めての方でも入りやすいかと思います。

看板娘の女将さんはとても明るくチャームングでお話上手、お店の雰囲気を盛り上げていらっしゃいます。その女将さんが焼かれる卵焼きは最高です。我が家の子供たちは福岡に帰ってくると必ず行きたがるお店です。

▶ランチは15時まで。「ちらしランチ」(1,200円)、「にぎりランチ」(1,700円)、「トロ入り 上にぎりセット」(茶碗蒸し付き 2,500円)※ランチは各メニュー赤出付き。寿司会席は5,000円、大将おまかせは7,000円～、他にも予算に応じて対応可能です(各税抜)



◀創業46年ということもあり、常連さんからの信頼も厚い、2階と3階にはお座敷があり、宴会も可能



メニューやネタを一部拝見!

特にファン多し!



ヒラメの皮の酢の物 (突き出し)



サバ



赤貝



卵焼き

店舗情報 寿司 なか庄

住所: 福岡市中央区 今泉 2-4-39
電話: 092-711-0594
営業時間: 11:30 ~ 22:00
定休日: 日曜日



編集後記

「異世界転生もの」が若者たちの間で流行っているそうです。普通の現代人が、転生する際に記憶や能力をそのまま、あるいは増強して引き継ぐことで、異世界で幸せになるという漫画や小説です。当然のように持っていた知識技術が、異世界では貴重だとみなされることが多いようです。自身の持つ知識技術が素晴らしいと感じながらも、それらを使って社会に貢献したり成功したりすることが難しく、生まれかわりたいと考えてしまう現状を表すものと受け取れます。身につけたものが幸福につながると、若者が希望を持てる環境を作ってあげたいものです。(大庭)



秋本病院 ブリーフレーター No.69 2021年1月発行 発行者/秋本亮一 発行所/医療法人 AGIH 秋本病院 デザイン/有限会社 広告農場 編集/矢野 美恵子 Copyright 2021 Akimoto Hospital All rights reserved.

医療法人 AGIH 秋本病院 福岡市中央区警固 1-8-3
TEL: 092-771-6361
●診療科目: 外科(消化器外科)・内科(胃腸科・肛門科・整形外科・脳神経外科・麻酔科)
●外来診療受付: 平日 8:30~12:30/14:00~17:00 土曜 8:30~12:00 ●休診日: 日・祝
<http://www.akimoto-hospital.jp/>

秋本病院の理念

- 1. 専門医療を通じ、地域社会に貢献します。
- 2. 皆さまのご満足と安心のために、医療に関する十分な情報を提供します。
- 3. 質の高い心のこもった医療を続けるために、常に研鑽努力します。

栄養課の役割と取り組み

秋本病院の栄養課は常勤の管理栄養士一名と受託給食会社の管理栄養士や栄養士、調理員が勤務しています。今回は秋本病院栄養課の役割と取り組みをご紹介します。

栄養課の役割

① 栄養管理

適切な栄養管理によって治療効果の喪失や医療の安全性の低下、あるいは合併症の発生を未然に防ぐ役割があります。入院・外来患者さまを対象とした栄養食事指導・相談の実施や入院時の栄養管理計画書の作成などを行っています。

栄養課の職場をご紹介します



①調理場はいつも清潔に保たれています ②保冷保温庫でお届けするまでしっかり管理 ③レシピや栄養計画はデスクで作成します

【特別治療食の種類】

特別治療食とは、疾病治療の直接手段として、医師が発行する食事箋に基づき、提供される適切な栄養量及び内容を有する食事のことをいいます。特別治療食の種類としては、腎臓食、肝臓食、高血圧心臓食、糖尿食、潰瘍食、貧血食、膵臓食、脂質異常食、特別な場合の検査食(潜血食)があります。

【栄養食事指導】

○栄養食事指導、入院栄養食事指導の対象とされる疾病
腎臓病、肝臓病、糖尿病、胃潰瘍、貧血、膵臓病、脂質異常症、痛風 等

○栄養食事指導、入院栄養食事指導の対象とされる患者さま
・がんの患者さま

・摂食機能又は嚥下機能が低下した患者さま
・低栄養状態にある患者さま

② 給食管理

美味しく安全な食事を提供するために衛生管理、食品管理(給食材料の検収、出納事務、使用状

節分時の行事食を例にした食形態



〈写真1〉 普通食



〈写真2〉 軟菜食



〈写真3〉 粗刻み



〈写真4〉 パースト食



〈写真5〉 5分粥食



〈写真6〉 全粥食



〈写真7〉 糖尿病食

より美味しく、安全に食していただけるように、厨房職員が直接病室に伺い、患者さまの食の好みや状況を確認させていただいています。さまざまな食形態がありますが、彩りなど見た目も工夫しています



★その他の取り組み★



10月には院内感染対策委員会の研修でも講師を務めました。これからの時期に最も多くなる「ノロウイルス」について当院スタッフを対象としたWEB研修を実施しました。

これからも栄養課一同、患者さまを栄養や食事の面で精一杯サポートさせていただきたいと思っています。

【選択メニュー】
週3回(金・日曜日の夕食の主菜、土曜日の昼食の主菜)常食の患者さまを対象に選択メニューを実施しています。その際、週1回の病棟訪問にて厨房職員が直接伺い、嗜好調査以外にも患者さまからのご意見をお聞きしています。

【行事食】
毎月1日の昼食は「赤飯」を提供しています。また、入院中の患者さまに少しでも楽しんでいただけるよう、暦に応じた行事食にも力を入れています。不定期にホームページでもご紹介していますので、ぜひご覧ください！

【食形態の定義】

・普通食・咀嚼、食塊形成、嚥下機能が正常な人の食事(写真1)
・軟菜食・普通食よりも軟らかい食事(写真2)

食形態	大きさの目安
一口大	2~3cm角
粗刻み(写真3)	1.5cm角
刻み	1cm角
極刻み	2mm角
パースト食(写真4) (咀嚼や食塊形成困難な人の食事)	増粘剤やゼラチンを使い、食材の形状を残さないペースト状の食事。粒がなく、すりつぶしており、スプーンで落としてポタッと落ちるかたさ



千一夜医話



秋本病院 理事長・院長
あきもと りょういち
秋本 亮一

『憧れのアメリカ』



私は団塊の世代のすぐ後の世代で、中学高校生の頃には全共闘の戦いを見上げていた世代である。子供の頃の日本は高度成長が始まったばかりで、終戦後の復興途上でまだ貧しかった。信じられないかもしれないが、私が子供の頃の天神西通り周辺は、下水道が完備しておらず、周辺の農家から大八車を馬に曳かせて尿尿を集積に来ていた。そして街には「US Air Force」の群青色の車が走っていた。さすがに

「ギブミー チューインガム」と言った覚えはないが、春日原の米軍基地はまさに異国だった。その米軍基地のアメリカンスクールに、高校生の時にバスケットボールの試合で招待されたことがある。体育館は暖房されていて、金髪のチアガールがダンスしており、ロッカールームのシャワーからはお湯が出た。試合は我々の勝利だったが、試合後にふるまわれたハンバーガー (McDonald) が日本に入ってくる前だった) は本当に美味だった。医学生時代の頃、アジア版のアメリカの教科書を読んで、彼の国の医学レベルに触れた。アメリカからの医学の情報は、まさに世界の最先端で、医師になってからもアメリカの医療を学ぶことは欠かせなかった。1987年から2年間アメリカで勉強する機会があった。留学が終わって帰国する際に、子供の頃に読んだ「シートン動物記」の世界に触れたくて、車で「イエローストーン国立公園」を訪れた。バッファローなど野生動物の群れを間近で見て、野生のグリズリーベアを遠くで見ることができた。子供の頃に本で読んだアメリカだった。

我々の世代は、アメリカはまさに憧れで、いろんな意味で目標にしてきた国だった。さてこの稿を書いている今、かの地では大統領選挙の真っただ中である。J.F. Kennedy が若くして大統領に就任した時は、子供心にさすがにアメリカと妙に感心したものだ。もともと人種差別をはじめ銃所持の容認など、様々な問題を多々抱えている国家であることは承知している。新型コロナウイルス感染症の蔓延でさらに社会が疲弊しているとはいえ、今回の大統領選挙の実態は幻滅である。先日TV討論会の様子は日本でも放送されたが、レベルの低さにあきれてしまった。病んでいる国とはいえ、世界一の経済大国、政治的には日本とは長年強固な同盟関係を続けている国である。自国第一の本音だけでは世界に対する責任が果たせない。またいつか、かつての賢いアメリカが現れること信じて大統領選挙の結果を見守っている。「I have a dream」と言ったのは黒人のキング牧師であるが、まっとうな国アメリカの再現が待たれる今日この頃である。

和の言 昭の独 生まり

からたち

私は、近くの丘の上を微風に吹かれながら散歩するのが好きだ。

丘の上の女学校の運動場やテニスコートが、周りの民家と、自然に混じり合っている雰囲気、とても好きである。この散歩道を、東京から帰省した長女と一緒に歩いていたら「長崎の丘の道に、似てるね」と云われた。そう云われてみると、私の実家の愛宕町も、子供の頃に住んでいた鳴滝町も、私と娘の母校である女学院の東山手も、周りは丘だった。鳴滝町の家は、すぐ裏手に、西洋医学の祖シーボルト邸の空地が有りその横の山道を登ると、「城の古址」の丘に至り、この古址を西へ下ると片淵町の祖父母の家があった。そこへ行く時は、いつもこの丘を越えて行くのが習わしだった。

丘の峠のすぐ下手の大きな百姓家の庭には、からたちの生垣が、ぐるりと家を取り囲んでいた。牛小屋があり、納屋があり、大きな柿の木があり、そして熟した柿の実と、丸い金色のからたちの実が、秋の日差しの中で輝いていた。

松尾 鞠

からたちの花が咲いたよ
白い花が咲いたよ
からたちのとげはいたいよ
青い針のとげだよ
からたちは畑の垣根よ
いつもいつもとおる道だよ
からたちも秋はみゆるよ
まろいまるい金のたまだよ
からたちのそばで泣いたよ
みんなみんなやさしかったよ
(「からたちの花」作詞：北原白秋より)

絵描きの祖父に、からたちの実をおみやげに持って行こうと思って、これを手折ろうとしたら、堅くて太くて長い棘が親指に刺さった。あの日から、長い長い歳月が過ぎ去ったのに、私の指は、思い出の中で、まだあの痛さを記憶していて、北原白秋のこの歌を口ずさむと、胸が熱くなって涙がこみあげてくる。祖父は、少し血がにじんだ私の指に、はまぐり貝の中の膏葉を、丹念にすり込んでくれたのだった。

給食室 よ

鏡開き時やお餅が余ったときなどにおすすめ! 「ぜんざい」



管理栄養士
さかもと えりこ
坂本 英里子

鏡開きとはお正月の間に年神様が宿っていた鏡餅をおろして食べ、1年の無病息災を願う行事です。元々は新年の餅事・行事はじめの儀式の一つで、「鏡」は円満を、「開く」は末広がりを意味します。当院でも毎年1月11日に院内に飾っていた鏡餅を職員にぜんざいとして提供しています。患者さまには衛生面と安全面を考慮して、お餅の代わりに白玉麩入りのぜんざいを提供しています。皆様もお正月のお餅でぜひ作ってみてください。



材料(お椀約3杯分)

- 小豆.....100g
- 砂糖.....100g
- ※小豆と砂糖は1:1
- 塩.....少々
- 水.....適量
- 餅.....適量

作り方

- 小豆を水で洗い、たっぷりの水でゆでこぼす。この時、塩をひとつまみ入れておくと小豆の形が崩れにくくなる。
- ①が沸騰したら煮汁を捨て、もう一度たっぷりの水とひとつまみの塩を入れて小豆が軟らかくなるまで煮る。
- 小豆が軟らかくなったら砂糖を数回に分けて加え、その都度よく煮る。
- お好みの水分量になるまで煮詰めたら、出来上がり。

10/30(金) ハロウィンパーティー開催

“Trick or treat !!”
10月30日(金)に、1日早めのハロウィンパーティーを行いました。スタッフが仮装して部屋をまわり、患者さまやご家族の方と写真撮影をしました。患者さまにも仮装してもらい「はじめて仮装したよ」と笑顔頂き素敵な写真を残せました。



▲病棟内もハロウィンの飾りで華やかに



▲患者さまにも仮装を楽しんでいただきました!

12/24(木) クリスマスプレゼント for you

クリスマス病院で過ごす患者様の為に企画委員一同、何か思い出を残したい、患者さまの笑顔が見たい、温かな時間を届けたいという思いで、このイベントだけは開催することになりました。今年の冬も秋本病院にはサンタとトナカイがプレゼントを配りにやってきました!!



▲ラッピングや飾り付けにも力を入れました!

REPORT コロナ禍での取り組み
～Web研修導入～

4月18日(土)～30日(木) 院内感染研修会



当院では院内感染研修会を年に2回以上実施しています。しかし今年には新型コロナウイルス感染症が流行し収束が見通せない中、研修開催について苦慮していました。全職員が個々に空いた時間で場所を選ばず参加出来る方法を考え、院内初のWeb研修を実施する事となりました。

研修内容は、新型コロナウイルス感染症の感染経路が飛沫や接触感染によるものなど、新型コロナウイルスについての内容と個人防護具着用方法について行う事となりました。実際に当院で使用している個人防護具をモデルとなって着用する者と、ナレーションを入れる者と二手に分かれて動画撮影を行う事で視聴者に分かりやすいように工夫し、YouTubeに4月18日(土)～30日(木)まで限定公開でUPしました。

今回、Web研修を開催する事で院内全員が参加出来たこと、また自由な時間に参加できた事は有意義であったと思われます。また、当院におけるネットワーク状況の再確認など情報のインフラや設備のあり方を改めて問い直す良い機会となりました。(院内感染委員 内村 仁美)

10月6日(火)～11月6日(金) 実習生受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療・看護の場においても多くの病院実習が中止になっていますが、当院では今年も実習生1名を受け入れ、臨地実習の協力をさせていただきました。

当院スタッフと同様に実習生にも、毎日の健康チェックや体温測定、マスク着用、手洗いやケア前後の手指消毒を徹底。教育機関と指導者、実習生も交えたカンファレンスではZoomを使用するなど、可能な限りの感染対策をとってもらいました。私達スタッフ一同は、実習生に普段とは異なる環境の中でこれまでと違った視点や体験をしていただけるよう取り組みました。

当院では各委員会が様々な内容で、全職員参加の研修を行っています。長引くコロナ禍で延期になっていた研修も、3密(密閉、密集、密接)を避ける為、Web研修導入という形で実施しました。また、実習生の受け入れや緩和ケア面談についても工夫をしながら取り組みました。今回はそれらの様子をお伝えします。

9月14日(月)～28日(水) 医療安全管理委員会院内研修

研修ではヒューマンファクター(さまざまな環境における人の行動特性)に着目し、院内事例の分析を「P-mSHELLモデル」を使用し行いました。研修目的は、エラーだけに着目するのではなく、エラーを誘引した状況を様々な観点から分析することにより、効果的な対策を具体的に立てることが可能になるという事でした。

通常であれば研修用のパワーポイントを作成し行う訳ですが、資料作成及びWeb用動画作成、動画のアップロードと慣れない初の試みは、かなり時間を要しました。また配信期間を9月14日～28日と設定後、視聴確認の方法、最後まで視聴してもらうための進行内容と悩みは尽きませんでした。

最終的には、「P-mSHELLモデル」を利用した分析問題の出題とアンケートの回収で、職員の理解度や次回研修時の改善点がみえてきました。これまでの研修と比べWeb研修は、自己の空いた時間を有効活用でき働き方改革の面からもメリットがあったと考えます。

今後も、医療の質の向上と安全・安心な医療を提供できるよう研鑽を重ねていきたいと思えます。(医療安全管理委員会 荒木 淳)



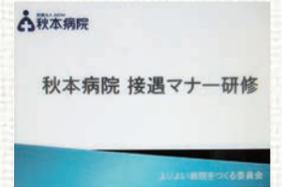
10月1日(木)～31日(土) 接遇研修

コロナ対策として研修をWeb上で実施しました。手探りの部分もありましたが、今回はWeb用パワーポイントでスライド資料を共有し、ページの最後で閲覧確認用のFormsへ誘導を行う方法を取りました。

アクセス容易化のため短縮URLやQRコードを掲示したりWeb研修ならではの工夫を盛り込んだこと、また、例年までの決まった日時での開催とは違い、職員が各々のタイミングで閲覧できるといった要因もあり、96%を超える参加率を達成することができました。

実際にやってみると職員が参加しやすだけでなく、配布資料が不要で集計も容易であるというメリットもあり、今後は必要に応じて研修の開催方法を使い分けていくのがスタンダードになるのではないかと考えております。

(よりよい病院をつくる会 上園 裕大)



実習生の第一声が、「ケアできる事が嬉しいです!」でした。

実際の患者さまやご家族の方々、スタッフ等と接し、顔を合わせ、場の雰囲気から感じ取るものなど、そのひとつひとつが成長のきっかけとなったのではと感じています。実習生が資格試験に合格でき、自分の施設に戻って活躍されることをスタッフ一同で応援しています。

最後になりますが、実習生が受け持つことに快く御協力いただきました、患者さまとご家族の方々に心より感謝申し上げます。

(緩和ケアセンター看護主任 緩和ケア認定看護師 島本 佳代子)



緩和ケア面談もテレビ会議で!

緩和ケアを受ける際には、事前にご本人・ご家族に来院頂き、医師・看護師・ソーシャルワーカーと面談を行っています。コロナ禍において緩和ケアセンターでは、テレビ会議(インターネットアプリ Zoom)を利用して、関東在住のご家族や関西圏より帰省直後のご家族との面談を行うことができました。

状況に応じて活用可能なツールであると認識された一方で、日々行うことができていた対面での面談の大切さを改めて実感する機会にもなりました。

